

第 89 回日本マイコトキシン学会学術講演会（2023 年 8 月 18 日：金沢大学サテライトプラザ）では、学生会員の優れた口頭発表に対して、ベストプレゼンテーション賞を授与しました。（1）スライドの適切さ、（2）発表の分かり易さ、（3）質疑応答の適切さ、の 3 項目について 5 段階で評価しています。以下の 2 名の方が授賞されました。

O-02 小泉慶明（東洋大学大学院 理工学研究科）

「*Fusarium* 型トリコテセン生合成経路の第二環化反応における C-15 位アセチル化酵素の重要性」

O-06 関塚律人（麻布大学 生命・環境科学部）

「トリコテセン系かび毒ニバレノールに対するモノクローナル抗体を用いた直接競合 ELISA の開発」



授賞式の様子：

左）小泉慶明氏、右）関塚律人氏